

中国・上海から「日本のアート」を発信しよう！

1st Asian Art Way 2011 in SHANGHAI



明日を、自らの力で
拓いていこうとする、
アーティストの力作を
「AAW2011」は広く募ります。

2011.9.17sat→9.25sun

【開催概要】

- 会 場：上海 M50 半島 1919 日本文化村（上海市宝山区松興西路 258 号所在 18 号棟の 02 单元及び 03 单元）
・メイン展示 A ブース × 6（1035×390×1035cm） B ブース × 4（1000×390×1000cm）
主 催：Asian Art Way 実行委員会（実行委員長 隠地妙 事務局長 本多隆彦 委員 西喜智江・本多彬乃）
後 援：日本領事館、半島 1919 アートセンター、泰明画廊、篠田美術
協 力：日本文化村、レッドタウン（紅坊）、M50 アートエリア、（株）SOLPAC、上海印藝術文化伝播有限公司

【募集内容】

- 1、テーマ：自由
- 2、応募資格：不問
- 3、応募作品：平面作品
第一次審査 写真データによる審査（JPEG、PDF）
第二次審査 100 号程度の作品（最長辺 150cm まで）等数点（1 作家、壁面長 7 メートル使用）
- 4、応募点数：第一次審査 3 点まで
- 5、応募料：10,000 円（第一次審査）
- 6、応募締切：2011 年 7 月 25 日（月）
- 7、展覧会出品者には展覧会カタログを一部贈呈
- 8、出品管理費：20,000 円（第一次審査通過者、上海出品）

【賞】

- 1、半島 1919 AAW 大賞 1 名 賞金：20 万円 副賞：上海市内のギャラリーでの作品展示
- 2、半島 1919 日本文化村賞 2 名 賞金：10 万円 副賞：上海市内のギャラリーでの作品展示
- 3、半島 1919 企業賞 数名（出品作品買い上げ賞）

【応募方法】

- 第一次審査 展覧会出品の 30 作家を選考します。
所定の申込用紙に必要事項を記入し、3 点までの作品写真データと、応募料の振込み控え（コピー可）と
共に、下記事務局にご郵送ください。2011 年 7 月 25 日（月）必着
- 第二次審査 第一次審査を通過した方
7 月 31 日までに第一次審査通過のお知らせをいたします。（作品搬入日 2011 年 8 月 31 日必着）
※出品作品に関するご相談を第一次審査後に行います。
- 審査員：隠地 妙（画家・AAW 実行委員長）、本多隆彦（月刊ギャラリー編集長）、篠田正道（篠田美術）、壇上正憲（泰明画廊）、
鄭培光 Zheng Pei Guang（上海紅坊発展有限公司 CEO）、潘 微 pan Wai（画家、武蔵野美術大学客員教授）、陳剛 Chen Gang（聖菱画廊代表）

募集要項・申込用紙は下記にご請求ください↓

AAW2011 実行委員会

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 4-1-6 幸陽ビル（月刊ギャラリー内） Email:blossom@31pc-seijo.com

中国・上海から「日本のアート」を発信

第1回 Asian Art Way 2011 in SHANGHAI(AAW2011)



アーティストの力作を募集

中国・上海市宝山区に新しいアート・ゾーンとして誕生した「M50 Bund (半島) 1919」は12万㎡の広大な土地にさまざまな施設の建設が進められている。弊誌本年5月号に既報の「日本文化村」もその中に4月16日にオープンした。

このハード（スペース）を活用して、日本文化を発信しようという企画「Asian Art Way 2011 in SHANGHAI (AAW2011)」が、いよいよスタートした。アーティストが海外で



1919 入り口

活動できるような道筋を作っていこうという公募展で、作家を選択するだけでなく、上海のギャラリイなどでの展覧会実現に向けた展開も含まれている。

作品写真による選考の一次審査（7月25日締切）で30名が選ばれ、その30名には「日本文化村」の展示スペースにそれぞれ7メートルの壁面が提供され、9月18日から展覧会(AAW2011)が行われる。その会場の二次審査で受賞者が決まる。7メートルの壁面をいかに使うのか、大



1919 日本文化村 各入り口

作と小品で構成するとか、その内容は作家に委ねられる。しかし、一次審査通過からあまり時間は無い。

「この条件の中で、いかに自分の作品を発表していけるか。国家的に活動していきたいというアーティストは、こうしたことをクリアできなくては、逆に国際的な活動を求めないほうがいいですね。厳しい現状を打破していく力も必要ですから」

フランスでの活動経験が長い、画家で実行委員長の隠地妙は、自らの経験を振り返りながらこう語る。これからは広く海外への展開を見出さなくては作家と

いる。日本文化村のオープンから、AAW2011の企画スタート、そしてアジアから世界に発表を続ける作家の誕生となるような「Asian Art Way」が、日本から延びていくことになっていくのだろうか。



Asian Art Way 実行委員長の隠地 妙

としての活路がないと考える隠地委員長は、上海での幅広いネットワークを使い、日本人アーティストの活動支援を行おうとしている。

さて、その要求に応えるどんな作家が登場してくるのだろうか。単に受賞者を選択するのではなく、その先のアーティストの活動支援を視野に入れた企画が用意されて